

豊かな心を持ち、共にたくましく生きる子どもの育成を願って

今、働き方改革により、私たちの仕事を見直すことを迫られています。校務、学級事務、生徒指導、教科指導、課外・部活動指導等により長時間勤務をされている先生方、本当にご苦労をいただいています。

しかし、子どもたちの前に立たせていただいている私たちが、より良い教育のために研修し研鑽を積むことを削ぎ落としてしまっただけでは良いのでしょうか。

私たち教師の本分は学び続けることであり、先輩方から教え諭されてきた、「教育会員が主体的に参加し、自らの教育力や研修力の向上」を目指し、教師としての資質を磨き合う職能向上の充実を図ってきたことは、時代がかわっても守り続けなければならないことではないでしょうか。

働き方改革を、是非「追い風」ととらえ、私たちが、今後も研修研鑽を重ねていく気風を絶やすことなく次の世代にも引き継いでいきたいと思います。

また、一人一人の会員の声を大切に考えながら“豊かな心を持ち、共にたくましく生きる子どもの育成を願って”を中心課題にすえ、職務の重責を十分に自覚しつつ、会員相互の協力による研究・事業を通して目的を達成したいと考えております。



平成30年度 小県上田教育会長 宮下幹敏（塩川小学校）